

琉球大学学術リポジトリ

琉球の絣文化と美

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学 公開日: 2007-10-28 キーワード (Ja): 琉球絣, 文化, 風土, 素材, 美的価値, 琉球舞踊衣裳 キーワード (En): 作成者: 富士栄, 登美子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/2241

琉球の絣文化と美

富士栄 登美子

(琉球大学教育学部家政教育専修)

【目的】

絣の技法を日本本土に伝えたのは沖縄である。日本の絣は、なかでも琉球（沖縄）の絣は天下無類であると柳宗悦は述べている(1938)。

沖縄の染織の世界は広く、どの世界の中にも絣が入り込んでいることに気づく。何気ない絣を取り込むことで、その染織の美的効果を生み、引き立たせることになる。縞だけだった芭蕉布に絣を取り込んだり、縞や格子と絣の組み合わせは最もよくなされるところである。

沖縄という亜熱帯気候に生まれ現代の生活の中に今も尚生きている絣文化の特徴、および琉球絣の美的価値について論じる。

【方法】

沖縄独自の絣文化と美を生み出す要因を検討するために、

第一に、その考察の基礎となる絣の素材、染料、技法を調べ、多くの実物を見る方法をとった。

第二に、沖縄島南部にある「絣の里」の南風原町役場、南風原文化センター、大城絣工房へ出向き、絣柄の名称なども含めて、生活に密着している絣文化の特徴とその美的価値を検討した。

第三に、生活を題材にした琉球舞踊衣裳について考察を深めた。

【結果・考察】

- ・絣の技術の伝播はあったにせよ、素材と柄は風土から生まれるものである。
(琉球絣は風土の中で生まれ育った美的価値を有する服飾文化)
- ・琉球絣の図柄と素材に美的価値を見出した。
(縞や格子に絣を取り込む美的センス)
- ・琉球の絣文化と美意識は、琉球舞踊の衣裳や喪服にまであらわれた。
- ・今後、琉球絣を地域教材として家庭科教育の中で生かした教育実践を予定している。

【キーワード】 琉球絣、文化、風土、素材、美的価値、琉球舞踊衣裳

最後に本研究は、平和中島財団国際学術研究助成金の援助を受けていることを申し添えます。